

# ばらの短茎多収栽培に適した品種の選定

## 1. 試験のねらい

ばらは景気の低迷などから業務需要が減少し、今後は家庭における需要（ホームユース）割合が高くなると予想される。家庭需要の場合は業務需要で求められるボリュームは必要なく、短茎（50～70cm）で十分である。そこで、ばら養液栽培におけるアーチング仕立て法、改良ハイラック仕立て法における系統の異なる多収性品種の収量性を確認し、短茎多収栽培に適した品種を選定する。

## 2. 試験方法

(1) 供試品種 ローテローゼを含む9品種（表－1）

(2) 仕立て方法

1) アーチング仕立て法

平成20年4月16日にロックウールキューブ挿しの挿し木苗を、90×20×10cm（長さ×幅×厚さ）のロックウールマットに株間10cm（9株/マット）の1条植え、栽植密度18株/3.3㎡で定植した。発蕾した枝は摘蕾し、7月4日まで順次株元から折り曲げ同化専用枝とした。また、ブラスチング枝、および出荷規格に満たない細い枝は摘蕾し随時折り曲げた。採花位置はすべて株元から行った（図－1）。

2) 改良ハイラック仕立て法

平成20年6月4日までアーチング仕立てと同様に管理した。それ以降、伸長した枝を株元から約30cmの高さで折り曲げて同化専用枝とし、折り曲げ部から発生した枝を採花母枝とした。採花位置は折り曲げ部から5～10cm程度の高さで行い、常に同じ位置で繰り返し収穫した（図－1）。

(3) 給液管理

愛知農総試園研ばら処方を用いて行い、ベッド内ECの目標値を4～9月は1.2mS/cm、10～11月、3月は1.5mS/cm、12～2月は1.8mS/cmとして給液濃度、給液回数を調整した。

## 3. 試験結果および考察

(1) 切り花長、切り花重、茎径は各品種ともアーチング仕立て法が優れたが、改良ハイラック仕立て法でも出荷可能な品質の切り花が得られた（表－2）。

(2) 3.3㎡当たりの出荷可能本数は、各品種とも改良ハイラック仕立てが多く、ホームユース用ばらに適していると考えられる切り花長50～70cmの出荷可能本数も、各品種とも改良ハイラック仕立てが多かった。また、目標収穫本数に達した品種は、ローテローゼ、コランドロ、シベリア、エスキモー、ジュピター、エスタ、アストラルであった（図－2）。

## 4. 成果の要約

養液栽培におけるホームユース用ばら栽培に適した品種は、改良ハイラック仕立て法でのローテローゼ、コランドロ、シベリア、エスキモー、ジュピター、エスタ、アストラルである。また、今回供試した大輪系、中輪系の品種は、改良ハイラック仕立てにすることで切り花長50～70cmの出荷可能本数が大幅に増加することから、ホームユース向け短茎多収栽培に適していると考えられた。

（担当者 園芸技術部 花き研究室 沼尾貴延）



図-1 仕立て法の模式図

表-1 供試品種

タイプ(目標出荷可能本数)	品 種 名
大輪系 (250本・500本)	ローテローゼ(赤)、コランドロ(オレンジ)、シベリア(白)
中輪系 (275本・550本)	エスキモー(白)、ジュビター(黄)、エスタ(ピンク)
スプレー系(250本・500本)	マカレナ(オレンジ)、アストラル(ピンク)、ガーデンズプリング(濃ピンク)

注1. 商品カタログの記載から、ロックウール栽培で450本/3.3㎡以上の収穫本数が期待できる品種を選定した。  
 2. ( )内の数字は、栽培1年次・栽培2年次の3.3㎡当たりの目標出荷可能本数を表す。

表-2 切り花品質および出荷可能本数

品種	仕立て法	栽培1年次				栽培2年次				
		切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	出荷可能 本数 (本/3.3㎡)	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	出荷可能 本数 (本/3.3㎡)	
大輪系	ローテローゼ	アーチング	77.0	42.4	5.7	149	79.0	39.5	5.5	371
		改良ハイラック	70.4	35.9	5.2	261	74.8	34.2	5.2	785
	コランドロ	アーチング	72.7	43.5	6.1	197	70.1	34.9	5.7	452
		改良ハイラック	65.1	39.4	5.7	270	64.1	31.9	5.3	612
シベリア	アーチング	79.1	44.6	5.6	112	80.6	32.1	5.1	403	
	改良ハイラック	69.5	36.6	5.2	187	76.3	32.5	5.0	647	
中輪系	エスキモー	アーチング	64.5	22.1	4.9	254	65.9	19.9	4.8	599
		改良ハイラック	57.7	18.8	4.5	418	62.2	16.1	4.2	851
	ジュビター	アーチング	73.0	34.7	5.5	254	73.4	28.8	5.4	554
		改良ハイラック	57.4	23.3	4.5	383	60.8	21.2	4.3	870
エスタ	アーチング	61.5	20.2	4.7	281	66.2	19.0	4.7	675	
	改良ハイラック	56.4	17.1	4.3	353	60.1	15.8	4.2	884	
スプレー系	マカレナ	アーチング	68.1	38.0	5.5	167	67.3	31.6	5.1	326
		改良ハイラック	55.5	25.2	4.5	193	59.8	27.1	4.6	482
	アストラル	アーチング	71.3	41.8	5.2	191	76.4	40.0	5.2	376
		改良ハイラック	58.6	26.7	4.3	277	68.4	31.3	4.7	730
ガーデンズプリング	アーチング	77.2	45.1	5.4	126	80.9	45.7	5.4	247	
	改良ハイラック	57.1	26.2	4.2	108	62.9	30.9	4.6	324	

注. 出荷可能本数は、切り花長40cm以上、大輪系、スプレー系は切り花重15g、中輪系は10g以上のものを対象とした。さらにスプレー系は一次花蕾数3輪以上のものを対象とした。

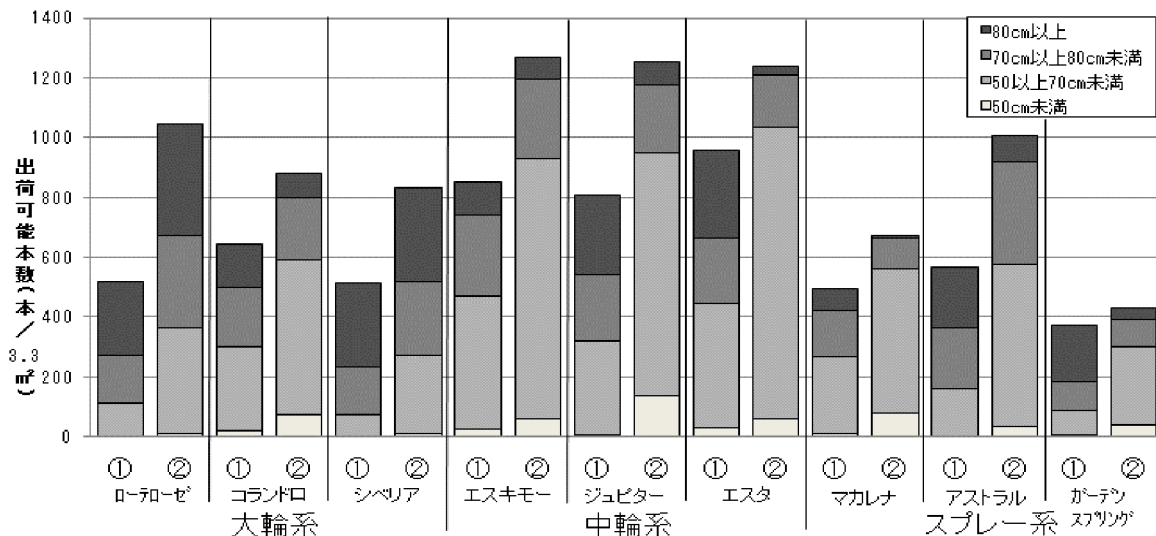


図-2 栽培2年間の切り花長別出荷可能本数

注. 図中の①はアーチング仕立て法、②は改良ハイラック仕立て法を表す。